

# フレッシュアップ コミュニケーション

## 東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内  
同窓会会長 古谷顯史郎

# '15.6

### ご挨拶 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、ご健勝にて、ご活躍の事と存じます。本年は、渡辺校長、荒井副校長が退任されました。渡辺校

長は、卓球部の合宿、練習に参加され、生徒の先頭に立って技術力、チーム力の向上を図り、文武両道の模範を示して頂きました。又、荒井副校長は、学校経営の事が忙しい中、最後迄教壇に立たれ、生徒を指導して頂きました。同窓会も大変お世話になりました。両先生には感謝申し上げますと共に、ご健康とさらなるご発展をお祈り申し上げます。

そして、四月より新校長として丹先生が就任致しました。先生は江戸文楽の研究者で有り、母校初の女性校長でも有ります。新副校長は勝岡先生が昇格就任され、主幹は国際中等教育学校より戻られた加藤先生、教務主任は森先生が就任されました。先生方には、節目となる二年後の創立七十年に向け、母校の伝統の上に、新しい風を吹き込んで頂き度いと思ひます。

昨年同窓会としては、入学式、附属追分小学校・中学校発祥の地記念銘板お披露目式、運動会、文研、卒業式に出席致しました。特に、昨年七月二十六日開催の、小金井小学校同窓会「撫子の会」および竹早中学校主催で行われた銘板お披露目式は、追分中学校の同窓生に加え、荒井竹早中学校副校長、文京区長、他多数の皆様に出席頂き、和やかに執り行なわれました。本郷通り(東大農学部向かい側文京六中正面入口右側)に設置されて居りますので、関係者の皆様にはお近くをお通りの際に是非見学頂き度いと思ひます。

## 27年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第37期(昭和61年卒)

○日 時/平成27年7月11日(土)

【受付開始】13時30分より

【第一部 総会】14時00分から14時30分まで

【第二部 懇親会】14時45分から16時00分まで

○会場/竹早小学校1階 ランチルーム

○会費/一般 2,000円

大学生 1,000円

ご招待 現・旧教職員の方々、高校生

○催し物/寄席で活躍している若手芸人による演芸

※新会員 第66期(平成27年卒)・同窓会総会担当幹事第37期・来年度担当次学年38期のみなさま、お誘い合わせの上、是非ご出席ください。

ご出席・欠席を同封のはがきにて、6月28日(日)までにご返信ください。

話は変わりますが、最近の教育界は中教審の答申を見ても、大きく舵を切り始めた様です。特に「大学入試改革」は、今年の中学校新入生が大学受験する年より、本格的に運用される改革とされており、明治以来、知識量のみが問われがちな入試でありましたが、思考力、判断力、主体性等を判定する様になり、教育改革、社会改革が進んで行く事になる様です。こうした改革の中、母校の教育目標・方針で有る、自主的に目標を持ち、明るく勉強し、部活に取り組みながら、「自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒を育てる」を益々、強化発展させる事に依り、今後も我々の目指す教育に大きく貢献して行く事になると思ひます。同窓会としても、自信を持って応援して行く所存です。

最後になりますが、会員の皆様には、今後共、さらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 全ての方々の思いを大切に

学校長 丹 陽子



この度四月二日付で学校長に着任いたしました丹陽子でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。創立七十周年も間近という歴史と伝統を持つ、この附属竹早中学校に赴任させていただくこととなり、誇りと重責を感じております。微力ではございますが、長年にわたり多くの方々によって創り上げられ、積み重ねられて来た本校の文化と伝統を大切に継承し、益々の発展に貢献したいと存じます。

同窓会会員の皆様には日頃より母校のためにご尽力をいただき、誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

新年度も始まり、校舎内には元気な生徒たちの声が響いています。一日一日と成長して行く姿が、大人たちを励まし、力を与えてくれます。まだ幼さの残る一年生も一年後には大きく成長していくことを思うと生命の力強さ、若さの可能性を感じずにはおられません。

近年国際社会では、未来ある青少年が理不尽に殺害される事件も多発しております。また急速な時代の変化の中で人々は翻弄されかねない危機感の中に生きております。これからの世界を、地球を担っていく子どもたち・若者たちの命を守り、豊かな成長を促すことは、世界全体が厳しく問われている現代的課題であると思えます。

本校の教育方針「自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒を育てる」「他人の立場や意志を尊重できる、視野の広い生徒を育てる」「心身ともに明るくたくましい生徒を育てる」は、どのような時代にあっても人間が求められる基本であると確信しております。この教育方針を実現すべく、日々努めて行くことが最も大切なことであることを肝に銘じて励んで行きたいと考えております。

校長副校長室の窓から見える青葉が美しく、命の輝きを感じさせてくれます。ビルに囲まれた都心でありながら、所々に何十年にも及ぶであろう大木の姿や街路樹の豊かさに驚かされます。小石川の地の歴史にも思いを馳せつつ、本校に携わる全ての方々の思いを大切に努めてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

# 25年前があるから 今の自分があること

副校長 勝岡幸雄



今年度より、副校長に就任しました勝岡と申します。

私が竹早中学校に赴任して25年が過ぎました。着任したときの驚きは、まずは旧校舎の佇まいでした。外見のレンガ造りの様相と校内の天井の高さ、彫刻が施された内装、これまでに勤務した都内の中学校とはまるで違う、タイムスリップしたような不思議な感覚は今でも記憶として残っています。

ところが、校内を闊歩する生徒達は、建物の趣とは異なり、モダンな雰囲気を出していました。更に、多方面にわたる能力の高さを示す姿を見せられ、驚きの連続でした。ですから、正直不安がなかったわけではありません。

そんな時、3年生の理科の授業で、私は思ってもいなかった体験をします。当時の私はワークシートを用いた授業をしていました。それも手書きのワークシートです。

きっと、「活字のワークシートにしないのか」と言われるだろうと思ひ、準備を始めました。

男子生徒が「先生、ワークシートをそのまま手書きで作ってくださいか。」と発言するのは。理由は「手書きのプリントは温かみがあるから」だと。多くの生徒がそれを支持しました。授業に温かみを求めるなんてと思ひましたが、竹早中学校に在る間は手書きを続けると、私は約束しました。その後教える学年が変わる度、私はこの経験を話します。すると、例外なく多くの生徒が支持し、変わることに今日まで手書きのワークシートで授業に取り組んできました。

研究授業後の協議会でも、何故手書きのプリントを用いているのかと必ず聞かれます。私は「きつと嬉しそうな表情をして？」この体験を話します。そして、羨ましがられます。本当に素晴らしい学校で、教師という仕事が続けられていることに感謝しています。

大好きな竹早中学校のために精一杯頑張りますので、今後ともご支援のほど、宜しくお願い致します。

## 新任・退任の先生挨拶

### ● 新任挨拶

加藤英明



今年度より主幹教諭と指導部主任を務めることになりました。教科では1年の保健体育を、また委員会指導では図書委員会、部活動ではバスケットボール部とダンス部の顧問をすることになりました。皆さん宜しくお願いします。

この4年間は、国際中等教育学校にいましたので、前任校の特徴をいくつか紹介したいと思います。まず紹介したいのは、マナーを重んじるルールは必要最小限という校風です。一人一人のマナーが向上すれば、ルールは必要最小限度でよくなり、また最小限のルールがあるゆえに安心して行動がとれるため、人間の活動は活性化するという考えです。日本の国民性を象徴した世界に誇れる考え方だと思いました。次に、日本の学校とは違った特徴のあるカリキュラムを実践していました。その一つに『国際教養』という授業がありました。そこでは、コミュニケーションやプレゼンテーション能力を向上させる実践が多く行われています。グループでテーマを決めて調べたことをパワーポイントを使って発表するというような活動を1年生から行っていくので、2年生が終わるくらいには、パワーポイントを使いこなして堂々とプレゼンテーションする力を身につけていきます。こうした能力は、早いうちから鍛えておくべきだと痛感しました。

また、海外経験がある様々な職種の方の講演もたくさん聴くことができました。移民を対象

に海外で図書館を建てた話や南極調査隊の話、近年実現するであろう宇宙旅行の話など大変興味深い世界規模・宇宙規模の話も聞き、見聞を広めることができました。

国際中等の仕事にやっとなれたところで竹早に戻ってきましたので、こちらで本領を発揮できるには、しばらくのリハビリが必要かと思えます。国際中等で学んだ良いところを指導に活かし、竹早中に貢献できるようにがんばりたいと思います。

### ● 退任挨拶

竹早に来たりてありがたき四年間を思う

前校長 渡辺雅之

竹早を 四つとせ過ぎて 仰ぎ見ん  
此処より他に 比するものなし



去る三月三十一日  
をもちまして小職は  
校長を退任いたしました。二期四年という任期を全うできたのは竹早中学校の伝統の力にあると感じております。また、多くの方々から応援をいただいたおかげでございます。特に同窓会の皆様には心から厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

国立大学法人の附属学校園では、従来より、学長より任命された大学教員が校長として赴任する仕組みのため、小職の場合、三・一の直後だったこともあり、不案内がゆえの不安を抱えたままでの着任でありました。

しかし、実際にはその不安とやらも瞬く間に水解したのが事実なのでした。その理由には、民主的な職場の在り方を求める教員の協力と努力、主体性を育むことを目的とした竹早中の

モットーに真摯に心えんとする生徒諸君の精励格勤、学校運営を車に例えるならばその両輪にあたる父母と教師の信頼関係に裏打ちされた絆の強さ、創竹会という教育後援会の愛ある支援の深さと広さ等が挙げられましょう。

小職はこうして環境で何ができるのか、何をせねばならないのかを考えました。少なくとも伝統ある竹早中学校の名を汚すことがないよう、生徒たちのために、職場のために、とにかく全力投球しなければと思ひ、卓球部顧問としての活動(卓球小僧なものでして)も含めてそのように努力したつもりでございます。浅学菲才の身を十分自覚し、最善を尽くしたと自分なりに思っております。皆様方の評価を頂くには恐れ多いと感じている次第ですが、小職にとりましては楽しい四年間であり、貴重でかけがえない、充実した四年間であったと申せます。そんな思いを戯言師として表現してみました。

森の石松じゃあねえけど、金色の竹早の芝に菊や松あり、渡る岩にも大なり小なりあれど、堀や塚があり、浦には熊棲みても我れ勝たん、酒もて鈴ならせ荒野もやがて楽園ならん。

これからは大学と附属学校園の渡殿となりて、その発展の礎として微力を尽くしたいと考えております。

重ねて御礼申し上げます、竹早中学校の益々の発展と同窓会の弥栄を心から願ひ結びといたします。

### 制服も靴も変わって

荒井正剛



竹早中学校に着任した時は、ぎりぎり二〇代でした。以来、途中、人事交流での附属世田谷中学校勤務の二年を含め、定年退職まで計三一年間、竹早中学校に勤

め、すばらしい生徒や同僚に恵まれ、とても幸せ者でした。わが子たちもお世話になりました。たですが、住まいが学区域外では話になりません(笑)。そんな遠距離通勤も苦になりませんでした。

竹早中に赴任した年、授業開始・終了での号令をやめることになりました。指示待ちではなく、主体的に学習の構えを作る。こんな学校を他に知りません。

また、その年、総務委員を中心に、新しい竹早バックをつくりました。当時は時代の先端を行く靴でしたが、その靴も今年度から変わりました。ちよつびり淋しさは残りますが、中央役員が継続して取り組んできた成果に満足です。

私が中央役員会顧問の時、制服自由化論議が起りました。学級だけでなく、生徒全員で議論しようという事になり、体育館に全員集まり、賛成派・反対派・中間派と三つに分かれて、熱く議論しました。ちょうど校舎改築と重なり、女子の夏服を変えたいという要望が高まっていた、制服は残すが変えることになりました。生徒の真剣な議論を受けて、ネクタイやリボン、ポロシャツの色を選べるようにしました。素晴らしい成果です。

制服と言えば、自分が三年担任の時の修学旅行で、初めて制服着用をやめました。当時は珍しがられました。本校の自由で大らかな校風、試行錯誤を大切に作る気風ゆえできたことで、野外での行動がずいぶん楽になったはずで、制服や靴が代わっても、本校の校風を大切にしたいと思ひます。「自ら求め考え、表現し、実践できる生徒」、竹早の誇りである自由研究・卒業研究にも見られる、そんな素敵な生徒像を、今になって社会が求めています。

私にとって「卒業」した竹早中は、皆さんと同じく「母校」です。いつまでもリピーターの多い学校であり続けてほしいと思ひます。母校の益々の発展を願つてやみません。ありがとうございました！竹早中学校に乾杯！

# 37

# 期生の部屋

3年間担任をしていたいただいた4人の先生方から、今年45歳を迎える37期生の我々に向けて激励のお言葉をいただきました。また、長期に渡り、海外で暮らしている同期生からも寄稿してもらったことができました。

## 新たな旅立ちの前に

新海 宣彦 (元3年A組担任)



私が45歳の時には、「これで徴兵で引張られることはないな!」とほっとしたものです。戦争のひどさを両親や大人から

聞きながら幼少期を過ごした私は、平和憲法下なのに、戦前の予備・後備役の兵役期限が45ですぎたことに、心ひそかに安堵したものです。安倍内閣の、解釈だけで改憲をし、自衛隊を、他衛隊にするなどの「戦争をする国」政策の推進をみると、徴兵制も目前と思え、あの時の突拍子もない危惧があながちとんでもない妄想でもなかったように思っています。皆さんは徴兵セーフでも、黙っているとお子さん達がアウトになりかねません。40にして変わらずといいますが、孔子の時代より20歳は寿命も延びており、今が最も惑う時期と思います。先が少し見え、このままでよいか惑う人もいるかと思えます。効率と利潤追求の会社の論理でよいのか、良い学校を目指す子育て論理で良いのか、再考の時に入りつつあると思います。そんなとき、平和のうちに、ひとり一人がより良く生きることができ、個人の尊厳を根本にしている日本国憲法を読み直し、より自分らしい道を探していただけたらと老爺心で思っています。

## あれから30年

川崎 正夫 (元3年B組担任)



竹早で初めて担任したのが君たちです。30代前半のころでした。あれから30年たったのです。竹早には、君たち

との3年間を含め27年間通いました。もちろん自転車で。片道10kmだったので、10万kmくらい走ったでしょう。気持ちの良い風に吹かれながらの時も、北風に向かって必死でペダルを漕いだ時もありました。今は退職し、読書に書道、上達しない英会話、小さな庭での花作り、それに趣味の写真とのんびり、好きなことをやっています。妻が働いていますので、家事をしなければならず、結構忙しい毎日です。健康で楽しい日々を送っています。

## 45歳のみなさんへ

山田 一美 (元3年C組担任)



私は、学校時代に数学から落ちこぼれてしまいました。先日「白熱授業」で教授が素数とセミの話をされてい

て興味をもちました。そこで、セミのことを調べてみると、素数周期ゼミなるものが出て、17年・13年の周期で成虫となり、天敵に出会う機会を減らしているというのです。セミもやりますね。ところで、みなさんは45歳になられると聞きます。美術教師の筆者が数の話を続けるのはかなり危険ですが、妄想してみようと思います。45に

関係する素数と約数などを並べると、1, 3, 5, 9, 15, 45となります。合っていますか? これを個々の生命リズムの周期だと考えると、みなさんは、多くのリズムの異なる方々と出会うことになると思います。その方々が天敵ですと大変な苦勞となりますが、よい出会い・巡り会いはと考えると、自他ともに刺激を得て発展する絶好の機会となりますね。おめでどう。

## つもりちがい 十か条

佐藤 孝子 (元3年D組担任)



高いつもりで低いのが教養 低いつもりで高いのが気位 深いつもりで浅いのが知識 浅いつもりで深いのが欲望 厚いつもりで薄いのが人情 薄いつもりで厚いのが面皮 強いつもりで弱いのが根性 弱いつもりで強いのが自我 多いつもりで少ないのが分別 少ないつもりで多いのが無駄

誰かからこんな言葉をききました。自省しています。

三十七期生、四十五才、仕事子育て最も多忙な時ですね。今を大切に大いに楽しんで下さい。そして何か一つ好きな事にこだわり継続推進させる事。

これからどんな事も達成できる未来が十分残されているのは素晴らしいです。



東北での貴重な体験学習

## 卒業30周年、そして アメリカ滞在20周年に思うこと

鳥栖 多華子

大学院卒業後に渡米し、今年で20年。ポストンでの学生生活を経て、アメリカ企業数社に勤務し、現在はサンフランシスコにてアメリカ人で学者の主人と娘二人との生活。仕事と家庭の両立に頭をひねる毎日だ。

帰国子女ではなく英語も微妙だった私がアメリカで20年も暮らして来られたのは、竹早中学校での体験に得るところが多いと思う。日本人として海外では欠かせない日本史や美術の知識、背景の違う人々とチームになって何かを成し遂げるプロセスや喜びを学んだ合唱コンクールや委員活動、人の心に訴えるコミュニケーションを考えた弁論大会、テーマ決めから始める自由研究、実は一番役にたっている家庭科で得た生活の知恵。教え始めればきりがないが、色々なことに興味を持ち、自由に学び、どこでも人生を楽しむ基礎を作っていたただけに本当に感謝している。

こちらでは、何事にもバランス良く多方面に優れた人のことを、「a well rounded person」と言う。この言葉を初めて聞いた時に私の頭に浮か



楽しかったお弁当タイム

んだのは、竹早中学校で出会った友人達だった。勉強だけでなく、他にも自分の世界を持ち、輝いていた懐かしい人々。卒業30周年。そんなみんなに久しぶりに会えるのを楽しみに。

## 新天地で私を育んだ竹早精神

保田シボン彩子

私は、竹早卒業後、附属高校入学、同年夏に父親の転勤と共に渡米し、英語の授業の全くわからない状態で現地校に通い始めました。考えを持っていても（英語で）クラスメイトや先生に表現することができず、今までの自分が無くなったという強烈な喪失感を初めて味わいました。更に、食生活の激変で体重も一時人生最高レベルに！弱り目に祟り目、そんな自分を支えてくれたのは、友人から届く「エアーメール」（これ、死語ですね）であり、「負けんなよ！」と背中を押してくれた級友の応援の言葉でした。一步一步這いつくばって進む思いの最初の一年、それでも英語で夢を見るようになり、スタンフォード大学進学を機に東海岸から西海岸にベースを移して、いつしか今住むサンフランシスコベイエリアに根を張った人生が始まっていました。現在は、カリフォルニア大



初めての校外学習 ~高校~



みんな頑張った運動会

傍ら教鞭を執っています。私は二児の母でもあり、今年初めて「お受験」アメリカ版を経験したのですが、「中学教育に親として求めるものは？」というエッセイ問題を通して、竹早が私に与えた影響が違う角度から見えて来ました。「自分の頭でものを考えて、意見を持つこと、違う考えを持つ同士が違いを恐れず考えを言い合うこと」、竹早で先生に教えを受け、友人と実践したこのプリンシプルII行動規範は、アメリカという移民国で私が多文化ハイブリッドな自分らしさを創造し続ける上で、揺るがない私の基盤となってきたのです。私を卒業後、遠い地で長い事育んでくれたこの竹早精神が、湧き出でる泉のごとく次世代をも育んでゆくことを、心から願ってやみません。



京都・奈良への修学旅行

## 37期同窓会総会幹事から

藤田（福本）恭子

今年37期生が同窓会総会の担当幹事をやらせていただきます。幹事のまとめ役は仲野一朗さんと進藤（藤沢）冬子さん。彼らの号令の元、第一回打ち合わせを行ったのが昨年10月です。同窓会総会担当を決めたのは30年前の中学卒業時なので、幹事に連絡がつかないクラスもあり、急ぎよ由田奨さんと日下（富田）幸さんがメンバーに加わってくれました。ありがとうございます！

それから数回に渡る打ち合わせを行い、今年2月には決起集会という名のもとの前哨戦飲み会を決行、18名が集まってくれました。卒業式以来30年ぶりに顔を合わせるメンバーもいて、大いに盛り上がりました。現在は田中（荒牧）裕子さんがお土産をセレクト中、その他ケータリングや設備など各担当者がそれぞれの準備に勤しんでいます。当日は司会進行が青木崇彦くん、余興では石川敬子さんがご実家の末広亭から「色物」と呼ばれる大道芸人さんをお呼びしてくれることになりました。（寄席の看板の出演者名は落語家さんが黒字で、それ以外の漫才・手品・大道芸などの演者さんは赤色で書かれており、そこから「色物」と呼ばれるようになったとのこと。その他、囃家さんの芸に色を添えるという意味もあるらしいです。）

幹事一同、皆さんに楽しんでいただけるよう、いろいろ頑張っていますので、7月11日の総会・懇親会には是非ご参加ください！当日お会いできるのを楽しみにしています。

## 平成26年度同窓会総会報告

36期幹事 小川(藪田) 真由美

平成26年7月12日、中学校ランクルームにて、26年度同窓会総会および懇親会が開催されました。厳しい暑さの中でしたが、幅広い世代から約90名の同窓会会員の皆様にご出席いただきました。

総会では滞りなく議事が進行され、同窓会から学校へクラブ活動援助金が贈呈されました。続く懇親会では、36期卒業生の能楽シテ方喜多流職分・能楽協会会員、友枝(井上) 真也さんに「能の魅力」についての講演をお願いしました。また、学年担任でお世話になった福岡康子



先生、西原口伸一先生、柴田俊和先生にお越しいただきました。30年前と変わらぬ精神的にご活躍なさる先生方のお姿に感激するとともに、中学生時代の情景が思い出され、原点である初心に立ち返ることができました。

旧友たちとの再会で思い出話に花が咲き、和やかな雰囲気の中、参加者全員で校歌を歌い閉会となりました。



準備段階から当日までお力添えいただきました渡辺雅之校長先生をはじめ、常務理事の皆様、35期の先輩方に心より御礼申し上げます。母校で過ごした時間で結ばれた絆に感謝しつつ、竹早中学校と同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご多幸をお祈りいたします。

### 母校PTA 文化厚生部からのお願い

例年行われている制服等のリサイクルを、今年度は左記の要領で行います。ぜひご協力ください。

○現行の制服(男女とも)、ワイシャツ、ブラウス、ネクタイ、リボン、ベストなど。

○運動会(9/26)、文研(11/6・7)当日に受け付けます。運動会ではグラウンドへの階段下に回収箱を設置します。  
○竹早中学校事務室あての郵送・宅配でも常時受け付けいたします。

#### 【送付先】

〒112-0002

東京都文京区小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校事務室

### 同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、70万円という高額を賜り、感謝に堪えま

せん。平成26年度は次のような活動に使わせて頂きました。

- 体育館使用料(本校体育館工事のため)
- 活動費(選抜選手の活動費として)
- バレーボールステージ(バレーボール部)
- デジタイマー(バスケットボール部)
- クラリネット(吹奏楽部)
- ノート型パソコン(囲碁・将棋部)

本校の部活動は、運動部は各大会で活躍し、都大会・全国大会にも出場しました。また、文化部は個性溢れた活動が雑誌等で紹介されています。今後とも、部活動に対する応援や支援をよろしくお願ひいたします。

### 学校よりお願い(募集依頼) コンピュータ室における 検索指導者の募集

期間…7月8日(水)、9月2日(水)  
午後2時～3時

内容…中学3年生の卒業研究におけるイ

ンターネット検索指導等

\*経験不問、交通費実費を含めて薄謝ですが、お支払いします。

\*問い合わせ・連絡先…勝岡副校長

電話:03(3816)8601(代)



平成27年度 予算案

(自平成27年4月1日  
至平成28年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	12,670,079	Ⅲ 本年度支出	3,280,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,300,000
普通預金	2,127,764	総会・懇親会開催費	600,000
郵便貯金	7,329,874	常務理事会費	50,000
小口現金	212,441	総務費	60,000
		文書事務費	20,000
		郵便連絡費	100,000
		慶弔費	90,000
II 本年度収入	2,992,000	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,580,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	名簿入力・追録費	100,000
維持会費	800,000	ホームページ作成・維持費	120,000
総会・懇親会会費	100,000		
預金利息	2,000	差引残高	12,382,079
名簿売上	10,000	IV 次年度繰越	12,382,079
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	3,000,000
		郵便貯金	6,000,000
		小口現金	382,079
合 計	15,662,079	合 計	15,662,079

注：(1)送料を含む

平成26年度 会計報告

(自平成26年4月1日  
至平成27年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	11,987,703	Ⅲ 本年度支出	3,088,328
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,211,789
普通預金	1,576,425	総会・懇親会開催費	346,902
郵便貯金	7,290,388	常務理事会費	33,115
小口現金	120,890	総務費	24,000
		文書事務費	30,313
		郵便連絡費	83,429
		慶弔費	30,000
II 本年度収入	3,770,704	卒業記念品代	108,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,600,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	891,000	名簿入力・追録費	163,080
維持会費	1,114,000	ホームページ作成・維持費	171,978
総会・懇親会会費	155,000	追分中学・小学校 銘板除幕式寄付	185,722
預金利息	2,204	差引残高	12,670,079
名簿売上	8,500	IV 次年度繰越	12,670,079
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,127,764
		郵便貯金	7,329,874
		小口現金	212,441
合 計	15,758,407	合 計	15,758,407

注：(1)送料を含む

教育後援会  
「創竹会」からのご挨拶



創竹会会長  
三嶋 明

同窓会の皆様には平素より創竹会活動にご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

創竹会は、2000年の旧文部省局長通知(附属学校の運営に要する経費等の取扱いについて)により、当校の教育後援会として2001年に発足致しました。その通知は、簡単に申し上げると「これまで『PTA』が行っていた中学への財政的援助を、『創竹会』が行う」事を意味します。それを受けて、当校の利点である『同窓会』と『中学校』との良好な関係をベースに、その通知の背景を読み取る努力をし、当会の制度設計を行ったと聞いております。爾来、私を含め3名の会長のもと、皆様のご支援とご協力により、その通知の趣旨に沿うべく、運営をして参りました。以上、なかなか分かりづらい「創竹会」と「同窓会」「PTA」との関係は簡単に説明させて頂きました。

さて、皆様(正会員と賛助会員)から頂いた創竹会会費は、運営費が5%程度

で、殆どを中学の教育振興に使われております。詳しくは毎年10月発行の「創竹会だより」をご覧ください。いかに多岐に渡っているかをご理解頂ける事と存じます。一例をあげると、トイレットペーパー、コピー機のトナー、プールの塩素材、エアコンのクリーニング代、学校図書、楽器、電子黒板、樹木剪定料などです。

当校を取り巻く環境は、国家財政の逼迫から附属学校運営費の削減が続き、ますます厳しくなっております。同窓会の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を頂けますよう心よりお願い申し上げます。

平成27年度  
常務理事の募集

同窓会理事会では、常務理事の募集をしております。様々な年代、職業の方々が各部会で活躍しております。現在のメンバーは次頁に掲載してありますので、参考にしてください。

主な仕事は、総会の運営、年3回程の理事会、先生方との懇談会・名簿の管理・発行、フレッシュアップ コミュニケーションの発行などです。

理事会は土曜日の午後2時から4時に行われます。堅苦しい会ではないので、気楽に参加してください。問い合わせ、参加をお待ちしています。(松岡)

## 名簿部より

### 同窓会名簿について

同窓会名簿は、4年毎発行し2011年版が最新となっています。今後、個人情報への取り扱いを考慮し、「17年版」の名簿発行に向けて、各年次委員のご協力により有意義な同窓生の交流を応援するツールとして、整備を行って参ります。各位のご協力をよろしくお願い致します。

### 移転手続きについて

JPビズメール便にてフレッシュアップをお届けすることで、郵便局で移転手続きをされた方には、移転先へ届きます。まだ同窓会へ移転手続きがされていない方は、この機会に是非、同窓会データ更新手続きをお願い致します。

### 名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメールにてデータ提供をいただいた場合、更新致します。  
・自分の住所等の変更があった時  
・2011年版名簿に記載誤りがある時  
・友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※ご本人が公表拒否を希望されている場合は同窓会のみ管理となります。

### 【連絡先】

TEL 2-0002

東京都文京区小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校  
同窓会名簿部 白石 英行 宛  
E-MAIL bunkyo@mail.ne.jp

## 平成26年度 同窓会活動報告

4月10日 入学式出席

古谷会長・三嶋副会長・田中副会長出席(お祝い金 1万円)

4月19日 第1回理事会

名簿について・フレッシュアップについて

5月30日 先生方との懇親会

小石川 ジェイズ

6月28日 第2回理事会

総会準備に向けて

7月12日 同窓会総会

クラブ活動援助金贈呈

9月13日 第3回理事会

第4回理事会

12月6日 3年生保護者会

(同窓会入会に関する説明  
白石理事)

1月31日 新年会

霞が関 別邸桂

3月16日 卒業式予行出席

記念品贈呈(校章入りマグカップ  
P名簿 野島・白江理事)

3月17日 卒業式出席

古谷会長・三嶋副会長・田中副会長出席(お祝い金 1万円)

## 平成26年度 同窓会常務理事

会長 古谷顕史郎(13期)

副会長 三嶋 明(13期)

松岡 隆司(14期)

顧問 二瓶 好正(7期)

田中 元次(2竹期)

監事 高柳 良夫(3竹期)

総務部 高島 正子(7期)

白江 千治(26期)

高柳 良夫(前掲)

三嶋 明(前掲)

田中 充(29期)

広報部 小菅 昭彦(27期)

田上 睦美(33期)

関根 青磁(38期)

野島 雅(41期)

花見喜久子(13期)

白石 英行(31期)

名簿部 関根あすか(36期)

正野 敬子(19期)

永井真知子(19期)

石黒由香里(26期)

27年度総会担当年次 代表者

総会 石川 敬子(37期)

藤田 恭子(37期)

仲野 一朗(37期)

進藤 冬子(37期)

## 維持会費同窓会支援寄付金 ご協力をお願い

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる(同窓会則22条)。26年度の収入は約377万円、支出は約309万円でした(平成26年度会計報告参照)。収入内訳は、新入会員会費160万円、維持会費約111万円、同窓会活動支援寄付金約89万円、その他約17万円でした。

維持会費は、毎年20000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。

なお、払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく(毎年払い込みください)。

## 編集後記

世界で活躍されている竹中同窓生

偶然なのですが、海外で起業をし、現地の方々と一緒にビジネスを展開させている同窓生に再会する機会が二回ありました。久しぶりお逢いして、お話しさせて頂くと大変興味深く感銘を受けました。この場で紹介させていただきます。

お一人が、41期同期の高垣絵里さんです。彼女は、2005年のパキスタン地震で被災した女性たちの手を借りて、素材の紙をそのまま活かした手作りのペーパーミラクルズ(※)を商品としたエンカルビジネスを展開しています。現地では、国連事務総長夫人訪問時「パキスタンを代表するトップ女性起業家」として選出されています。今年、経済産業省後援のソーシャルプロダクツアワード2015で特別賞(アイデア部門)を受賞しました。

もう一人が、40期の林健太郎さんです。彼は、ミャンマーから医師として人道支援活動を始め、苦しんでいる人の元に直接赴いた結果、ミャンマーで香辛料として知られている八角を栽培し、インフルエンザの特効薬タミフルを生産するビジネスを立ち上げました。現在、「八角平和計画(※)」として世界の、アジアの、日本の安全と平和のため支援者を募集しております。

ご両名の活動については、※のキーワードをネット検索することで、ご覧いただけます。(野島)

同窓会ホームページをご利用ください。

<http://www.takehaya-jhs-dousoukai.net/>